

働くよろこび、社会参加の輪を広げよう

平成28年7月1日 発行

宮 古 市
シルバー人材センター会報

いきがい

発行所

公益社団法人

宮古市シルバー人材センター

〒027-0072 宮古市五月町2-13

電 話 (0193) 63-7443

FAX (0193) 64-3285

HP <http://www.sjc.ne.jp/miyako/>

編 集

会 報 編 集 委 員 会



全国統一スローガン

見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験

平成28年度までの全国統一安全就業スローガン

平成28年度 定時総会開催



挨拶

公益社団法人宮古市シルバー人材センター

理事長 福島 清春

本日は、平成二十八年度公益社団法人宮古市シルバー人材センター定時総会の御案内を致しましたところ、皆様には、大変お忙しい中、多数の会員の皆様のご出席を頂きまして感謝申し上げますとともに、厚く御礼申し上げます。

また、本日の総会には、公務が多忙な中、市長代理として山根正敬産業振興部長様、市議会議員 前川昌登様、そして宮古職業安定所所長の鹿野肇様を御臨席を頂いております。御来賓の方々には永年に渡り、シルバー人材センター事業の発展のため、各般についてご尽力を頂いておりますことに、ますます心より敬意と感謝を申し上げます。

また、この後予定しております表彰式において、シルバー人材センターの会員として永年在席されセンターの事業発展に大きく貢献された方々の功績をたたえ、感謝状を贈呈させていただきます。今後、ますますのご健勝と、シルバー人材センター事業の発展のために、一層のご活躍を祈念申し上げます。

さて、平成二十七年年度の事業実績につきましては、受託事業は前年同期の実績を上回っており、就業にあられた会員の皆様の努力に感謝しているところであります。

また、高齢者の多様な就業機会を確保するため取り組みが求められている派遣事業については、昨年九月の労働者派遣法の改正により「派遣期間三年問題」が解消されたところですが、当センターの現在の派遣事業は、老人健康福祉施設利用者の送迎車両の運転業務、事業者の展示販売に係る催事場への物品等の搬入搬出業務等の依頼を受け実施しているところであり、ます。

しかしながら、当地域においては仕事の問い合わせはあるものの、契約までには至らず不調となるケースが多くなっている状況であります。このことから事業所の皆様、会員の皆様の理解を頂けるよう努めながら実施してまいりたいと考えております。

一方、東日本大震災から五年二ヶ月、震災前に比べて会員数の減少は否めません。会員の拡大はシルバー人材センター事業の基礎となることから、入会説明会への参加者増に向け、各種イベントへ参加しての啓発やセンター独自のチラシを作成し、市内全戸への配布及び高齢者が集う施設への備え置きなどを行い、勧誘に努めてきたところでございます。現在は団塊世代が六十五歳を超え高齢者人口三十万人と全人口の四分の一を占め、年々少子高齢化が進行しております。そのような中、シルバー人材センターには高齢者の多様な就業ニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的かつ短期的、又は軽易な就業機会を確保・提供する一方で、高齢者のいきがいの充実や社会参加の促進を図ることに、地域社会の活性化に貢献すること。また、生涯現役社会の実現についても、センターでは高齢者の「居場所」と「出番」をつくることも、会員が支えられる側ではなく支える側として活躍できるよう取り組んでまいります。そして設立目的や基本理念を忘れることなく、会員の皆様の英知をいただきながら、役職員一丸となつてセンターの健全運営に邁進していく考えでございます。

更に今年度は、シルバー人材センター事業が法制化され三十周年にあたることから、より一層のシルバー人材センター事業の普及啓発に力を入れ取り組んでいきたく考えております。結びとなりますが、常日頃、種々ご協力いただいております、市当局関係機関、市民各位の皆様にご心より感謝申し上げます。本日提出した議案について十分に審議いただき、御賛同を賜りますようお願いいたしますとともに、会員の皆様のご健勝とご活躍、ご発展を祈念いたします。総会の開催にあつたつてのご挨拶といたします。

本日は、どうぞよろしくお願いたします。



祝辞

宮古市長 山本 正徳

シルバー人材センターの皆様には、日頃より市政発展にご尽力いたたくとともに、学童の家など市の公共施設の管理運営においても、多大なご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

シルバー人材センターにおかれましては、会員の皆さまが豊富な知識と経験、技能を生かし、安全に就業できるよう日々努力されていますことに心から敬意を表します。

また、本日、表彰を受けられました会員の皆様に、お祝いを申し上げますとともに、長年にわたりシルバー事業の運営・発展にご尽力なされたことに対して、厚く御礼申し上げます。今後とも健康に留意され、お元気で活躍されますことをお祈りいたします。

シルバー人材センターが行っている、高齢者への多様な就業機会の提供や、社会奉仕活動等への参加といった役割は、高齢者の生きがいや健康の増進につながるもので、今後、より一層重要になるものと考えます。

また、震災からの復興を成し遂げるためには、地域の中心として活躍されている皆様の豊かな経験と知識が必要となりますので、引き続き、ご支援とご協力を願ひ申し上げます。

結びとなりますが、宮古市シルバー人材センターの益々のご発展と、それを支える会員、役職員の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、挨拶といたします。



代読する山根正敬産業振興部長



祝 辞

宮古市議会議長 前川 昌 登

本日ここに公益社団法人宮古市シルバー人材センター平成二十八年度定時総会が開催されるに当たり、宮古市議会を代表して一言お祝いの言葉を申し上げます。

また、先ほど表彰を受けられました会員の皆様に対しまして、心からお祝いを申し上げます。今後におきましても健康に十分ご留意され、他の会員の皆様の模範として業務を遂行されることを念願する次第であります。

皆様方の宮古市シルバー人材センターは、昭和五十三年に県内市町村に先駆けて発足され、以来、本市における高齢者の方々の就労の拠点として果たしてきた役割と成果は誠に大きく、意義深いものがございます。

そして、会員の皆様が長年培ってまいりました豊かな経験や知識、高い技能が、利用者の皆様から高い評価と深い信頼を得られておりますことに對し、改めて敬意を表する次第であります。

どうぞ、今後におきましても、地域に根付いた幅広い活動を進められるようお願い申し上げます。

結びに当たり、宮古市シルバー人材センターの運営にご尽力、ご協力を賜りました関係各位に感謝を表しますとともに、宮古市シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、祝辞といたします。



前川昌人登宮古市議会議長



祝 辞

宮古公共職業安定所
所長 鹿野 肇

本日は、「宮古市シルバー人材センター平成二十八年度定時総会」開催、誠にありがとうございます。

また、先ほど表彰を受けられました会員の皆様には、長年にわたりご尽力頂きましたことに、改めて敬意を表しますとともに、心よりお祝い申し上げます。

さて、震災から五年が経過し市内を見渡しますと、復興道路や防潮堤の工事が急ピッチに進められておりますが、今後は、復興道路や三陸鉄道釜石までの開通、更には、北海道室蘭へのフェリー就航等のインフラ整備が進み、人や物の流れが大きく変わろうといたします。

一方で、復興関連工事の特需により多くの求人が出されておりますが、ほとんどの業種で人手不足が続いている状況にあります。

更に、少子化の影響で、高校生をはじめ将来を担う若年層も年々減少しており、人口問題も含め、今後益々深刻な問題になりかねないと懸念しております。

こうした状況の中、これからは、高齢者が活躍するかどうか、復興の大きなカギになるのではないかと考えられますが、最近、国では雇用保険法の一部改正を行いました。

一つは、来年一月より「六十五歳以降に新たに雇用された場合には雇用保険の適用対象」となること。

もう一つは、シルバー人材センターの運用ですが、今年の四月より「派遣や職業紹介に限り、週四十時間以上の勤務が可能」となったことです。

四十時間勤務については、具体的な取り組みはまだ進んでいない状況ですが、いずれの改正も、人材不足のなか、少しでも高齢者の働く環境を整え、就業機会の確保が図られることを目的としております。

宮古地域を取り巻く環境は、今後益々変わっていきませんが、会員の皆様が今まで培った豊富な経験や技術を生かし、少しでも活躍する場を増やしていくことが、新たな地域の活性化や発展に繋がるものと思われまので、是非これからも健康には十分留意されまして、自己研鑽に励んで頂きたいと思えます。

また、「宮古市シルバー人材センター様」におかれましては、高齢者の就業機会の確保に日々ご尽力頂いておりますが、事業への期待と重要性は、益々高まっております。引き続き、就業の確保や会員の拡大に取り組まれまして、「宮古地域の復興の支え」となってもらいたいと思えます。

終わりに、宮古市シルバー人材センターの益々の発展と、本日、ここに列席の皆様のご健勝をご祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



鹿野肇宮古市公共職業安定所所長



総 会 風 景

公益社団法人 宮古市シルバー人材センター 新役員の紹介

理 事 (再任)
こまい みおる
駒井 稔理 事 (再任)
みうら まちこ
三浦 真知子理 事 (再任)
ささき ももこ
佐々木 百子理 事 (再任)
たざき かずこ
田崎 和子理 事 (再任)
わかさ けんいちろう
若狭 健一郎副理事長 (再任)
えんどう よしお
遠藤 良雄理事長 (再任)
ふくしま きよはる
福島 清春

以上の方々が役員に
選任されました。
(敬称略)

監 事 (再任)
いわぶち ひさお
岩渕 永男監 事 (再任)
かみさか はつよ
上坂 初代常務理事・事務局長 (再任)
くまがい ただし
熊谷 正理 事 (新任)
きくち ひろし
菊池 啓之理 事 (再任)
おがさわら しょうじ
小笠原 昭治理 事 (再任)
みかわ じゅんこ
三河 純子

田崎理事退任

元理事
たざき とよのり
田崎 豊義 氏

センターの事業運
営などの推進にご貢
献頂きました。感謝
いたします。
ご苦労様でした。

理事長表彰者の紹介



男性 10 名、女性 2 名、計 11 名



表彰代表者 盛合克隆会員

安全・適正就業強化月間

1 目 的

シルバー事業は、高齢者が健康で安心して「働く」ことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としており、このことから日頃から安全・適正就業に対する意識の高揚を維持していくことが肝要である。

2 安全・適正就業強化月間

平成 28 年 7 月 1 日から平成 28 年 7 月 31 日まで

3 全国統一スローガン

「見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験」

(平成 28 年度までの全国統一安全就業スローガン)

4 シルバー人材センターで取り組む事項

- (1) 健康管理の推進
 - ・宮古市実施の健康診断を積極的に受診し自己の健康管理をしましょう
- (2) 就業途上における交通事故の防止
 - ・交通ルールを守り、徒歩、自転車及びバイクでの事故を防止しましょう。
- (3) 安全保護具の点検整備
 - ・安全帽、安全帯、飛散防止ネット等の安全保護具を点検し、整備不良は使用しない。
- (4) 就業前・就業後の機械器具の総点検
 - ・草刈機、芝刈機、バリカン、脚立等の点検をし、整備不良は使用しない。
- (5) 就業現場、作業環境の総点検
 - ・就業現場を確認点検してから作業に入る。
 - ・作業に合った服装を着用し、熱中症にならないよう水分、塩分をまめに摂る。
- (6) 安全帽、安全帯、安全就業ワッペンなどの着用の励行
- (7) センター、就業現場等へ垂れ幕、ノボリ等の掲示



平成28年
7月1日から
平成30年
6月30日

〃	事務局	〃	〃	〃	〃	会 員	〃	〃	役 員	区 分
吉田 稔	熊谷 正	山本 (和雄) (新任)	上田 巖	館下 善弥	岩間 富雄	山下 邦雄	小笠原昭治	三河 純子	遠藤 良雄	氏 名

安全・適正就業対策
推進委員会委員長名簿

■ 県内センターの事故発生状況 ■

	事 故 発 生 件 数 (件)						
	就業・途上別				傷害・損害別		
	就業中	途 上	その他	計	傷 害	損 害	計
平成27年度	43	6	0	49	28	21	49
平成26年度	56	6	0	62	28	34	62
比較増減	△13	0	0	△13	0	△13	△13
前年度比(%)	△23.2	0.0	0.0	△21.0	0.0	△38.2	△21.0

	傷害事故の程度別				
	死 亡	入 院	通 院	その他	計
平成27年度	0	8	20	0	28
平成26年度	0	2	26	0	28
比較増減	0	6	△6	0	0
前年度比(%)	0.0	300.0	△23.1	0	0.0

熱中症予防のために

暑さを避ける

室内外では・・・

- ▶ 扇風機やエアコンで温度を調節
- ▶ 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- ▶ 室温をこまめに確認
- ▶ WBGT値※も参考に

外出時には・・・

- ▶ 日傘や帽子の着用
- ▶ 日陰の利用、こまめな休憩
- ▶ 天気のよい日は、日中の外出をできるだけ控える

からだの蓄熱を避けるために

- ▶ 通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- ▶ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

※WBGT値：気温、湿度、輻射（放射）熱から算出される暑さの指数
運動や作業の度合いに応じた基準値が定められています。
環境省のホームページ（熱中症予防情報サイト）に、観測値と予想値が掲載されています。

こまめに水分を補給する

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、
こまめに水分・塩分、経口補水液※などを補給する

※ 水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。



熱中症の症状

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
- 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う
- 重症になると、
- 返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

熱中症が疑われる人を見かけたら

涼しい場所へ

エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など、涼しい場所へ避難させる

からだを冷やす

衣服をゆるめ、からだを冷やす

（特に、首の回り、脇の下、足の付け根など）

水分補給

水分・塩分、経口補水液※などを補給する

※ 水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの



自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう！

草刈り機使用講習会

開催日時

平成 28 年 7 月 20 日 (水)

午前 9 時 ~ 午前 11 時 30 分

但し、当日雨天の場合は、延期

場 所

ふれあい公園内 宮古市小山田

内 容

初歩的な講義及び実技

・草刈り機の各部の名称、操作方法、簡単な整備方法、作業時の注意事項等

対 象

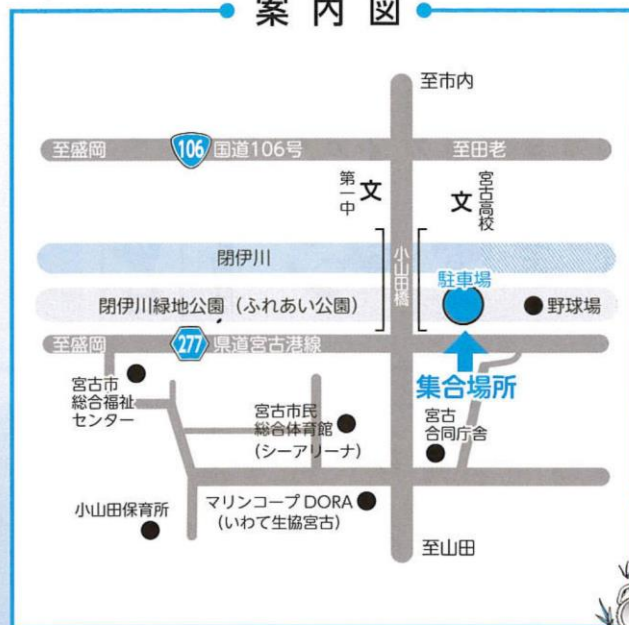
センター会員及び市内在住の 60 歳以上の一般の方

募集定員

15 名



案内図



第22回 宮古市産業まつり 出店参加

期 間

9月10日(土) 午前10時~午後5時

9月11日(日) 午前10時~午後3時30分

場 所

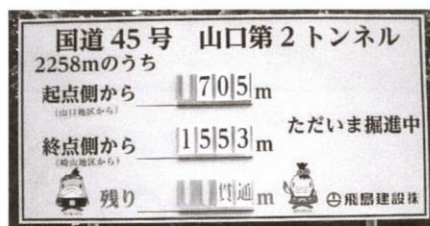
宮古市民総合体育館 (シーアリーナ)

木工作品、パッチワーク小物、リフォーム作品等を展示販売しますので、会員皆様の作品を募集します。事務局までご連絡ください。

会員のひろば

山口第2トンネル 探訪記

岩船ハナミ会員



三陸沿岸道路の工事が盛んに行われておりますが、山口第2トンネルの貫通日に見学に行ってきました。

当日は箱石側より1.6キロ程内部まで大型バス2台で入り、最後の発破作

業のカウントを、用意して頂いた耳栓・マスク・ヘルメットで防備し待ちました。「3・2・1・ゼロ!! 発破!!」の声でズシン…と少し足元が揺れ、崩れた上部から対抗側のライトがパツと差し込んだ時は思わず感銘感動で皆拍手でした。大手の建設会社さんでもあり、一連の対応が規定通りなのかなと思いました。現場近くの民家の方々に、現場の配慮や見学会における準備がとても周到で心地良く、細部に安心安全が感じられて嬉しくなりました。今後も作業は続き、平成32年度の開通予定とか。待ち遠しい限りです。



事務局からのお知らせ

配分金支払日

これからの配分金の支払日は次の通りです。

★平成28年度

◎6月就業分

平成28年7月15日(金)

◎7月就業分

平成28年8月15日(月)

◎8月就業分

平成28年9月15日(木)

◎9月就業分

平成28年10月17日(月)

◎10月就業分

平成28年11月15日(火)

◎11月就業分

平成28年12月15日(木)

配分金支払日は毎月15日です。

※但し15日が土日祝日の場合は翌日。

会費納入のお願い

平成28年度センター年会費

2,500円

未納会員は早急に納入願います。

新入会員の紹介

平成28年1月～平成28年6月まで
男性11名 女性6名 計17名

1月 1名(男性0名、女性1名)

・佐々木 美枝子(佐原・中里地区)

2月 1名(男性1名、女性0名)

・山根 吉一(鍛ヶ崎地区)

3月 入会者無し

4月 9名(男性7名、女性2名)

・畠山 林作(八木沢)

・小野 悦子(磯鶏地区)

・齋藤 浩三(大通・新川町地区)

・盛合 幸吉(津軽石)

・佐々木 三男(千徳東地区)

・中野 泰男(長沢)

・佐藤 義則(長沢)

・八重樫 和枝(大通・新川町地区)

・斎藤 悟(宮町地区)

5月 2名(男性1名、女性1名)

・内澤 良明(鈴久名)

・裏岩 弘子(茂市)

6月 4名(男性2名、女性2名)

・館下 政志(津軽石)

・田代 八重子(千徳西地区)

・上坂 とみ子(崎山)

・湊 純一(磯鶏地区)

※敬称略

入会案内

第1・第3水曜日に説明会を開催しています

場所：センター3階会議室 持物：筆記用具
開始時間：午後1時～(約1時間)

7							8							9						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2		1	2	3	4	5	6		1	2	3				
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	
10							11							12						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5							
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31

会員募集

貴方様の余力を

世の為 (周囲・環境が快適になります)
人の為 (貴方の力で助かる人がいます)
自分の為 (交友を広げ外の空気を感じ脳への刺激)

ぜひシルバーへいかがでしょうか？
説明会に一度おいでになってみませんか？

公益社団法人 宮古市シルバー人材センター 就業の心構え

1. われらは、シルバー人材センターの目的に誇りをもって働きます。
1. われらは、豊かな経験を生かして仕事にとり組みます。
1. われらは、責任をもって誠実に仕事を行います。
1. われらは、社会参加に喜びと生きがいを求めます。
1. われらは、健康と安全に留意します。

会員数 ……336名

男性 248名 女性 88名

平成28年7月1日現在

公益社団法人

宮古市シルバー人材センター

〒027-0072 岩手県宮古市五月町2-13
TEL(0193)63-7443 FAX(0193)64-3285

会報編集委員

岩 三 駒
手 船 浦 井
紙 八 眞
の ミ 知 子
写 ハ ナ
真 知 子
提 ミ 稔